

問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課

課長補佐 藤田 雅之

電話03-3541-3813

平成19年9月6日

海上保安庁

## 日本海南西部における放射能調査の 日韓共同実施について

海上保安庁は、例年実施している日本海南西部における放射能調査を、韓国と共同で9月11日から18日まで実施します。

1. 海上保安庁は、ロシアの日本海における放射性廃棄物投棄の事実を受けて、平成6年以降毎年、日本海において放射能調査を実施し、放射能の影響の経年的な監視を行っています。
2. 今般、日韓間の外交経路による調整により、海上保安庁は日本海南西部における放射能調査を、昨年に引き続き、韓国と共同で実施することとなりました。なお、昨年の結果については、全調査測点において、特段の異常は見られませんでした。
3. 本調査について、付近を航行する船舶への情報提供として、9月7日付の水路通報に掲載します。
4. 調査の具体的な内容及び水路通報の内容は別添のとおりとなっています。

## 1. 日本海南西部放射能調査の日韓共同実施の具体的内容

観測地点：下記水路通報記載の「位置」のとおり

調査日程：平成19年9月11日～18日（観測地点での調査は12日から開始することとし、また、気象条件により延長する場合がある。）

使用船舶：日本側 海上保安庁測量船「海洋」 550トン

（出港地：門司港）

韓国側 水産科学院調査船「探求1号」2,180トン

（出港地：釜山港）

調査項目：表面、中層及び海底付近の採水並びに海底土の採泥。

その他：使用船舶には他方の国の調査員が同乗する。

## 2. 9月7日付水路通報の内容

海 域：日本海南西部

作業内容：採水・採泥作業実施

期 間：平成19年9月12日～17日（予備18日～22日）

位 置：(1) 39-00N 135-18E 付近  
(2) 36-35N 131-30E 付近  
(3) 38-00N 132-00E 付近  
(4) 38-00N 135-00E 付近  
(5) 36-57N 133-50E 付近  
(6) 38-43N 132-56E 付近

備 考：測量船「海洋」(550t)及び調査船「探求1号」(2,180t)による日韓共同調査

※韓国からも同様の内容の水路通報が実施されます。